



YAMASHITA KOGEI INC.

www.yamashita-kogei.com

株式会社山下工芸

〒874-0034 大分県別府市上人仲町 13-43

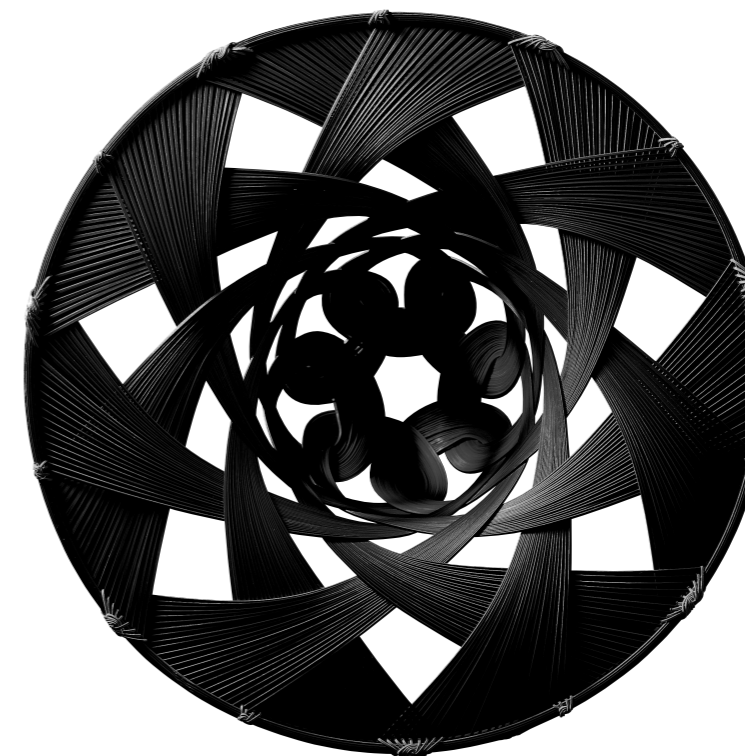
tel : 0977-66-4383 fax : 0977-66-4385

info@yamashita-kogei.com

○発行 2017 年 7 月

YAMASHITA KOGEI INC.

CORPORATE PROFILE & PRODUCTS



For Hotel Restaurant & Lifestyle shop
Japan produce



YAMASHITA KOGEI INC.

CONTENTS

- P.04 Company Profile 会社案内
- P.08 Social Business ソーシャルビジネスについて
- P.14 Products 製品紹介
- P.16 Collaboration コラボ企画紹介
- P.18 Inbound Business 海外事業

Takebito Business

YAMASHITA KOGEI INC.

会社案内

Established in 1975, in operation since 1987

CONCEPT

自然素材が持つ温かみを形にして届ける「上質な日常」

会 社 名	株式会社 山下工芸 (YAMASHITA KOGEI INC.)
本 社 所 在 地	〒874-0034 大分県別府市上人仲町 13-43
物 流 セ ン タ ー	〒873-0231 大分県国東市安岐町下原 1370-1
中 国 オ フ ィ ス	杭州市余杭塘路 417 号中天西城紀 1 号楼
創 業	1975 年 4 月
設 立	1987 年 2 月
資 本 金	1,500 万円
代 表 者	山下 謙一郎

事 業 内 容
ホテル・レストラン・外食チェーン向けの天然素材を中心とした業務用和洋食器の企画販売
ギャラリー・ベーカリーショップ用什器の企画販売
フライ・ルアー用フィッシングアイテムの企画開発
海外向け事業
百貨店・ライフスタイルショップ向けの商品提案・企画販売

プロジェクト
環境や福祉といった社会問題解決に向けての取り組みを継続的に行う為の仕組みを構築
他社オリジナルブランド商品の生産・開発
放置竹林の竹や間伐材を利用した製品の開発・拡販環境保全のため収益の一部を関連団体へ寄付
バイオマス資源の研究・開発間伐材や竹をパウダー化し、テーブルウェアとして再生

ブ ラ ン ド **Takebito**[®] ホテル・レストラン・外食産業様向けの業務用製品を展開

Spirit of nature[®] 百貨店・専門店様向けの生活雑貨を展開

hand* 天然素材の包装資材・ギフト用パッケージ商材を展開

Takebito Business

YAMASHITA KOGEI INC.

ショールーム・ショップ案内



本社 Head Office

〒874-0034 大分県別府市上人仲町 13-43
Shonin Nakamachi 13-43 Beppu Oita JAPAN
tel : 0977-66-4383 fax : 0977-66-4385



東京ショールーム Tokyo Show Room

〒163-1062 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー OZONE4F
SHINJUKU PARK TOWER OZONE 4F
Nishi-shinjuku 3-7-1 Shinjuku-ku Tokyo JAPAN



別府竹工芸とクラフトショップ ICHIZA ICHIZA Shop

〒874-0935 大分県別府市駅前町 12-13 えきマチ 1 丁目別府 B-Passage 内
12-13 Ekimaecho Beppu Oita JAPAN



ラピュタファーム コラボショップ Laputafarm Collaboration Shop

〒827-0001 福岡県田川郡川崎町安真木 4408-11
4408-11 Amagi Kawasaki-machi Tagawa-gun Fukuoka JAPAN



北九州環境ミュージアム Kitakyushu Environment Museum

〒805-0071 北九州市八幡東区東田 2 丁目 2-6 北九州市環境ミュージアム館内
2-2-6 Higashida Yahatahigashi-ku Kitakyushu JAPAN



中国事務所 China Office

杭州市余杭塘路 417 号中天西城紀 1 号楼
Room 802 Building1 ZhangTianXiChengJi No.417YuangTang Road
GongShu District HangZhou ZheJiang CHINA

Takebito Business

YAMASHITA KOGEI INC.

出展展示会

EXHIBITION

国内の展示会を中心に、様々な展示会に出展しております。
代表的な展示会以外にも、展示販売会等も積極的に参加しております。

[国内]

GIFT SHOW

東京国際ナショナル・ギフトショー(2月/東京ビッグサイト)

HOTERES JAPAN

国際ホテル・レストランショー(3月/東京ビッグサイト)

JOINT EXHIBITION

なごみの空間 合同展示会(6月・11月/東京浜町プラザANSビル)

TABLEWARE EXPO

テーブルウェアEXPO(7月/東京ビッグサイト)

[海外]

HOTELEX SHANGHAI

上海ホテレックス(3月/上海新国際博覧中心(SNIEC))

隔年出展も含む

Takebito Business

YAMASHITA KOGEI INC.

OEM 事業

Original Equipment Manufacturing

自社ブランド力を強化したいすべての方へ

天然素材を中心に、国内生産・海外生産を問わず、オリジナル商品の開発をお引き受けいたします。
大手企業様のオリジナル商品を受託してきた経験と信頼で、企画から納品まで
お客様のものづくりを、これまでのすべての知識と経験を生かし、出来る限りの力でサポートします。
天然素材のご相談ならおまかせください。

天然素材 : 竹 | 木 | 籐 | 漆 | ガラス | 陶磁器 | 紙 | 布 | 金属 | 伝統工芸品 など
塗 装 : TSC 加工 | ノンスリップ加工 | 漆塗り など
名 入 れ : レーザー刻印 | 焼印 | 印刷 など

生活雑貨 | ハウスウェア | 厨房用品 | 客室備品 | 浴室備品 | 店装什器 | 演出小物 | 包装用品

OEM の流れ

01

お問い合わせ

電話、FAX、メールにて、簡単に内容をご相談ください。こちらから折返しご連絡いたします。

02

ヒアリング

お客様のイメージやデザイン、希望条件など、より詳細な打ち合わせをさせていただきます。

03

お見積り

ご要望に添ったご提案をいたします。サンプルをご希望の場合はご相談ください。

04

ご注文

お見積り承認をいただきましたら正式発注書を作成いたします。

05

納品

打合わせで決定した条件にて、商品を作成いたします。商品の仕上がりを楽しみにお待ちください。



Takebito Social Business

ソーシャルビジネス

活動実績

ソーシャルビジネス (SB) とは現在問題視されている様々な社会的課題に向き合いビジネスを通して解決していこうとする活動の総称です。

活動実績

- 2005年 放置竹林・グリーンプロジェクト始動。
- 2006年 社会福祉施設との協業をスタート。
- 2012年 九州の放置竹林を利用した竹箸製品5種類がエコマーク認定されました。
- 2013年 山下工芸のソーシャルビジネスの取り組みが経済産業省のケースブックに掲載されました。
- 2015年 10月 太陽の家創立50周年記念式典にて長年の障害者雇用支援に対し表彰を受けました。
- 2015年 12月 「自然で自然を支える箸プロジェクト」がエコマークアワード2015にて銅賞を受賞しました。
- 2016年 03月 山下工芸の取り組みが日経ビジネスに掲載されました。
- 2017年 03月 「社会的インパクト評価イニシアチブ」に運営メンバーとして登録されました。

SIMI

社会的インパクト評価
イニシアチブ
Social Impact
Measurement
Initiative

内閣府が社会的課題の解決を目的に、2020年までの定着を目指す「社会的インパクト評価」のイニシアチブメンバーとして登録されました。社会的インパクト評価とは、短期・長期の変化を含め、事業や活動の結果として生じた社会的・環境的な変化、便益及びその他効果を定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えることです。社会的課題解決に向けた活動に対して、統一基準を定めることを国際的に推進しており、それに向けての様々な活動に参加しております。

Takebito Social Business

ソーシャルビジネス

取り組み紹介



間伐材を利用した商品の販売 >>P10.11

森林の適切な管理・保護の為に間引きされ用途の定まっていない木材を使用した商品の企画販売を行っております。天然素材の間伐材を利用することで不必要な森林の乱伐を防ぎます。また、間伐材製の使い捨て簡易テーブルウェアを繰り返し使えるように加工を施し、「使い捨て」から「使いきる」という概念へのシフトを推進しております。



繰り返し使える天然素材製品の企画開発 >>P12.13

食品衛生法に適合したガラス溶剤により天然素材商品の耐久性をアップしました。竹や木から作られた簡易商品の使い捨てという概念や耐久性の低さといった天然素材のデメリットをカバーし従来より永くご愛用頂ける商品の開発をしております。これにより自然素材の無駄な消費をなくし、処理時にかかる環境への負荷や自然林の不必要な伐採を防ぎます。



福祉施設への作業委託

弊社では2006年より製品の検品作業や梱包作業の一部を地域の社会福祉施設に委託し、障がい者の働く機会を支援しております。事例：大分県別府市に本社をかまえる「社会福祉法人 太陽の家」様等と協業させていただいております。



環境保全 NPO 法人との連携

環境保全 NPO 法人と情報交換を行い、里山における放置竹林の状況など環境問題を認知し企画開発に活かしています。NPO 法人「里山を考える会」様のご協力のもと、北九州市環境ミュージアムにて弊社製品を出品しております。

Takebito Social Business

自然で自然を支えるしくみ 間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト

1ps= ¥1 Project

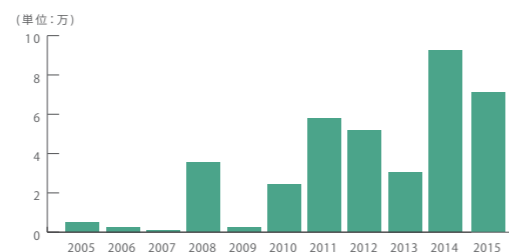
間伐材・放置竹林グリーンプロジェクトとは、弊社が行っているソーシャルビジネスの一つで、現在問題となっている放置竹林や、建材としての価値を持たない間伐材を有効活用し、森林資源の浪費や放置竹林の拡大を防ごうとする環境保全プロジェクトです。活動の一環として放置竹林、間伐材などの未利用材を活用したエコノベルティ商品(販促品)の製造・販売・OEM生産を行っています。

1piece=¥1
for nature & for friends

企画商品を1点ご購入頂く毎に1円を環境保護団体・ボランティア団体などへ寄付しております。

これまでの主な活動実績

右のグラフは企画商品の一つでエコマークを取得した竹箸の販売実績の推移です。2015年までの間に約40万膳以上をご購入いただき、その売上の一部を寄付しております。



- ・赤十字団体、環境保護団体への寄付。
- ・プロジェクト商品を取り扱っていただいているお客様が運営しているボランティア団体への寄付。(エコマーク箸を使っていたいただき2014年は135,685円をタイの学校へ寄付させていただきました。)

間伐材や放置竹林を活用したいわけ

間伐材と聞けば、一般的には捨てる部分だからタダ同然の材料だという意識が根付いています。しかし間伐材は土地を健康に保つ為に整備をする過程で伐採される材木です。荒れた竹林や森林を整備するにはたくさんの人手が必要です。今、多くの土地の整備は、経費と労力が不足し放置され続けているのが現状です。実は、間伐材はたくさんの人々が協力してやっと生まれる資材でもあるのです。間伐材の商品が必ずしも安くない理由を一人でも多くの人々が知り、豊かな自然作りに参加してほしい。その想いを形にするため、私たちは天然素材の製品を通じて環境保全に繋がる循環型の仕組み作りに取り組んでいます。

Takebito Social Business

自然で自然を支えるしくみ 間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト

エコマークの取得



エコマークアワード2015「銅賞」受賞

「エコマークアワード」は、日本環境協会によって2010年に創設された表彰制度で、エコマーク事業の目的である「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰するものです。山下工芸が約10年前から取り組んでいる「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」及びその一環として行っているCSV活動が、環境配慮商品を選択することで消費者が社会的に貢献できるコーズマーケティングの好事例として評価され「銅賞」を受賞しました。弊社は今後も放置竹林や里山の荒廃等といった社会問題と向き合い、「放置竹林・間伐材=エコな有用資源」であるという考え方のもと環境保全プロジェクトを持続可能なビジネスとして展開していき、地球環境の保全に努めてまいります。

エコマーク認定商品のご案内

山下工芸が推進するソーシャルビジネス「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」の一環として九州の放置竹林を利用した竹箸製品5種類が2012年よりエコマーク認定をいただいております。

エコマークは、消費者が暮らしと環境の関係について考えるきっかけや環境に配慮された商品を選ぶための目安となります。

山下工芸ではエコマーク製品の提供を通じて、微力ながら自然環境保護に取り組んでまいりたいと思っております。



再生材料を使用
再・未利用木材100%

エコマーク認定番号
第12128003号
株式会社山下工芸

エコマークとは、財団法人日本環境協会が「環境保全に役立ち、環境への負荷が少ない」と判断した商品につけられるマークです。



スス竹角弁当箸
19.5cm

白竹新客箸
22cm

スス竹新客箸
22cm

白竹節無箸
23cm

スス竹節無箸
23cm

Takebito Social Business

自然で自然を支えるしくみ 繰り返し使える天然素材製品の企画開発

TSC 加工商品

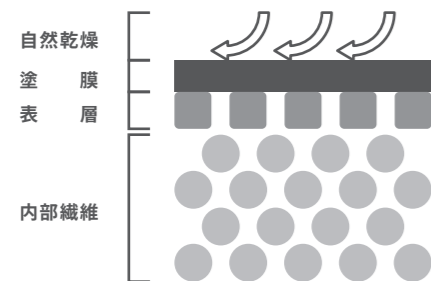
Takebito Super Coating

自然そのままに、だけど長持ち。繰り返し使える天然素材。

タケビトスーパーコーティング(以下「TSC」という)とは、製品をより長く衛生的にご利用いただくためにガラス質のポリマーをアルコール成分の高い溶液で素材の内部まで浸透させ加熱乾燥することで、内部繊維の周りにガラスポリマーを定着させ素材を疑似ガラス化し、耐久性を高める独自の加工方法です。素材を構成する繊維質自体をコーティングするため、素材の風合いや香りを残しながらも商品寿命を延ばすことができます。商品をより長く使用出来るようになることで森林資源の使用抑制となります。また、TSC加工に使用される溶剤は、食品衛生法第20号に適合しており安全に使用していただけます。

従来の塗料による加工

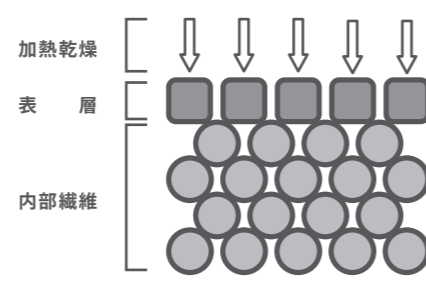
ポリウレタンや漆による塗装方法



従来の加工方法は主に素材の表面に塗料を塗ることで皮膜を作り、その皮膜で素材の内部に水分が入り込むのを防いでいます。表面のみをコーティングする従来の方法は、時間が経つと塗膜が消耗、劣化し剥離を起こし、その部分から浸水し、カビが発生しやすくなります。また塗装が剥げると表面に凹凸が生じるため見た目も悪くなります。

TSCによる加工

内部繊維の周りを液体ガラスで覆い加熱し定着させる



TSC加工は繊維と繊維の間にある空間を保ったまま天然素材の耐久性を向上することが出来ます。内部繊維の加工なので表面を覆う照り感などは最小限に抑えられ、素材本来の質感や香りを残すことが可能です。また、従来塗装のように表面が傷つくことによる劣化が起こり難くなります。

Takebito Social Business

自然で自然を支えるしくみ 繰り返し使える天然素材製品の企画開発

TSC 加工商品

竹集成ボードによる撥水比較

①水による撥水実験



②醤油による撥水実験



FDA 基準に基づく実用証明書取得済み

TSCに使用される溶剤は、2008年にアメリカ政府の食品・環境に関わるコンサルティングを行う KELLER AND HECKMAN 法律事務所より証明書を取得しています。訴訟問題に敏感な欧米では事前調査や証明は大変重要であり、同社は日本でも権威となっています。証明書では、世界で一番厳しいと言われているアメリカ食品医薬局 (FDA) の発行した法律と条例に基づいて、TSC 溶剤が食品に関連する器や包材に塗装することが認められ、食品衛生基準に抵触しないことを証明しています。

※加工後も使用状況によりカビが発生する場合があります。

耐水性・撥水性の向上

製品寿命アップ

カビ発生率の抑制*

素材の風合いを保つ



安心と安全を、より永く。

TSC加工相談承ります。

竹・木・藤といった天然素材で出来た製品や陶器など、様々な素材に加工を施すことが可能です。素焼きの陶器に加工することで、釉薬を塗ったものとは違ったマットな質感を楽しむことが出来るようになります。

TSC加工は、このように今までにない素材の新しい可能性を導き出します。

加工したい製品がございましたら、弊社までお問い合わせください。

ご希望のお客様にはテストデータをご用意しております。

PRODUCTS

Bamboo products

竹製品



生長がとても早い竹は、森林の樹木が成木になるまでに 20 年を要するのに対し、60 日～80 日で約 15m にまで達します。そして、ひとつの苗から一本しか育たない樹木と違い竹は地下茎を伸ばし「たけのこ」を出し次々と繁殖していくので、森林の樹木を伐採するよりも効率がよく資源の調達が可能です。

また、竹はその強い生命力と繁殖力から九州地方を中心に放置竹林が問題となっています。放置された竹林は里山を侵食していき、生態系が崩れる原因ともなります。

山下工芸では放置竹林の竹を積極的に使用し商品の開発を進めております。そして一人でも多くの方に現状をご理解いただき、竹を再生可能な自然にやさしい素材として、年間を通して竹の素晴らしさを伝え、ご利用喚起を図りたいと存じます。

Wood products

木製品



森林は光合成により二酸化炭素 (CO₂) を吸収します。しかし植林し見守っているだけでは温暖化防止にはなりません。

人の手を加え、健全に CO₂ が吸収できるように保育する必要があります。

京都議定書で認められるのは、人の手の加わっていない天然林ではなく、人の手で管理され「適切な森林経営がなされている森林」です。

山下工芸では人工林の木材を積極的に活用し商品をご提供させていただいております。

Takebito Business

Ceramics・Glass

陶磁器・ガラス



山下工芸は大分県の別府市を拠点に、小石原焼や小鹿田焼などをはじめとする九州の魅力ある陶器を中心に、各地の陶器をお取り扱いさせていただいております。

窯元さんとの新商品の企画やコラボレーションを実施しております。

ガラス製品は 400 年の歴史を誇る有田焼とガラスの美しさを融合させた「HAJIMARI」(有田焼ガラス)や、切子加工商品を扱っています。

また、全国各地域の陶器やガラス製品を国外に向け積極的に輸出を行っています。

Environmental resin products

バイオマス樹脂製品の研究



バイオマス樹脂商品とは、これまで建材・材料としてとして価値が低いとされていた間伐材・放置竹林、商品の生産過程や利用後に排出される廃棄物を細かく粉砕し、樹脂と混ぜることで新たな価値を与え再利用する環境に配慮した循環型のエコ商材です。竹粉を 30% 配合したメラミンを材料とする当社オリジナルのプレートは、落としても割れない丈夫さや、熱に強く取り扱いやすさが特長で、竹ザル特有の凹凸とカラーをそのままに再現し天然素材の弱点である素材の弱さ(カビの発生や耐久性の低さ)を除いた、素材感やデザイン性の良さのみを取り入れています。

Imported products

輸入品



山下工芸では竹のみならず様々な天然素材を国内に限らず、世界各国から輸入しています。生産委託先は日本国内で 480 社以上、海外には中国を中心に 5 社以上あります。

また、中国には事務所を設け、バイリンガルの常駐スタッフがアジア圏の現地メーカーと打ち合わせ・管理、調整を行っています。

弊社グローバルネットワークと経験を活かして海外物流(製品・素材の輸出入)のご協力ができますので、お気軽にご相談下さい。

Takebito Business

COLLABORATION

コラボ企画のご案内

山下工芸では、様々な業種とのコラボ商品やコラボ企画を積極的に行ってまいりました。お互いの長所を掛け合わせることで、究極のイノベーションにつながると確信しております。実績を一部ではございますが紹介いたします。コラボ企画のご相談・問い合わせを承っておりますので、営業担当またはお問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください。

× BAMBOO・WOOD

商品コラボ

YAMASHITA KOGEI INC.



竹製品・木製品

山下工芸では、竹・木製品を中心に、常に天然素材と向き合い生活スタイルにあった商品の開発に努めてまいりました。記念品やノベルティ商品など、多数のオリジナル商品をご提供しております。「〇〇周年記念行事の記念品に」「学校オリジナルの文房具が欲しい」などご希望をご相談いただければ、商品知識豊富なスタッフが最適な商品をご提案させていただきます。まずは、お気軽にご相談ください。

× CRAFTS

工芸産地とのコラボ

YAMASHITA KOGEI INC.



工芸産地

山下工芸では、工芸産地・メーカー交流訪問を進めております。そうする中で工芸産地の理解を深め、課題を共有し、工芸品全体の発展につなげたいと考えております。気になる産地や工芸品がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

- ・小石原（福岡）
- ・小鹿田（大分）
- ・山葡萄（東北・輸入）

etc...

Takebito Business

× OEM

ディーラー経由OEM企画

山下工芸では、OEM 企画も積極的に行っており、継続してOEM 企画をご提供している例も多くございます。専属のスタッフが担当し、ヒアリングを充分に行い、国内外のパートナーと連携しお客様のニーズにお応えいたします。お打ち合わせから納品まで責任をもって進めます。

- ・無印良品
- ・サントリー
- ・Francfranc
- ・NARUMI
- ・KEYUCA
- ・ゆとりの空間
- ・ACTUS

etc...

× MEDIA

メディアコラボ企画

山下工芸では、弊社だけではなく大分・別府や工芸品の産業発展にご協力できればと、メディア掲載にも積極的に対応いたします。メディア掲載に連動した催事での販売やオンラインショップでの限定販売など実績も豊富です。撮影用商品やロケ地のご紹介なども承ります。

- ・ANA STORE
- ・mono マガジン
- ・the wonder of kyushu

etc...

→ ANA STORE TOPICS

【日本の伝統工芸 Vol.2】伝統と革新 大分の竹工芸は進化し続ける
全日空公式ショッピングサイトの特集ページに、山下工芸と大分の竹工芸を取りあげていただきました。公式ショッピングサイトでは掲載商品が購入できます。

→ mono マガジン

mono マガジンの瀬戸内・北九州特集に山下工芸の記事が掲載されました。掲載連動して開催された伊勢丹でのイベントにも参加させていただきました。

× SHOP

ショップコラボ

山下工芸では、福岡県の果樹園「ラピュタファーム」様と、2017 年よりコラボ商品開発や百貨店でのイベント参加などを行っております。九州での新たな繋がりが、産業や伝統文化を継承し、地域の活性化にも繋がる道だと考えます。



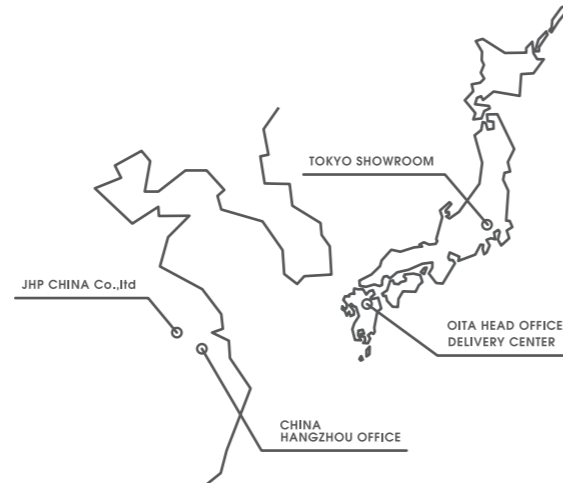
Takebito Business

インバウンド事業

海外への日本文化発信

中国事務所を拠点とした海外戦略

山下工芸は中国事務所を拠点に海外戦略を展開しています。自社工場でのOEM生産をはじめとした、製造工場の選定品質、生産のコントロールや、製品の市場価格調査なども行っています。自社工場では日本製品に近いレベルの品質管理を指導し、日本製品と遜色ない製品をOEM製造できます。独自の生産ルートを活かしてベストプライスを提案いたします。



海外への日本文化の発信

山下工芸は伝統文化から現代文化まで魅力ある日本の姿を伝え、日本に対する諸外国の理解を深めるため、また、国内外の文化の更なる発展に繋げるために海外への日本文化の発信に力を入れています。展示会への出展や情報誌への掲載等を積極的に行ってまいりました。

出展展示会

2000年～2004年

ドイツフランクフルトメッセに年2回出展

Ambiente / 2月 Tendense / 9月

2009年 / 2012年

上海出展

上海国際ホテル用品展示会 Shanghai HOTELEX

2010年

ニューヨーク出展

ニューヨーク展示会 David Bouley(Brush stroke)



海外情報誌 EAT-JAPAN 掲載 年1回 CrossMediaLtd. 発行
日本の食を中心に、関連情報をロンドン他世界に発信している雑誌です。山下工芸は、日本のテーブルウェア、プロダクトの分野にて紹介されています。

Takebito Business

インバウンド事業

ミニギャラリー

ミニギャラリーの提案

雑貨店様や飲食店様向けに、ミニギャラリーの提案をさせていただいております。昔ながらの民芸品や工芸品を中心に提案いたします。お気軽にお問い合わせください。

